



10月の園だより

令和8年10月1日

目黒区立中町保育園 園長

金木犀の香りや秋の虫の音、朝晩の涼しさからも秋を感じるようになりました。子どもたちは園庭や公園で虫探しや落ち葉遊びをしたり、楽しく体を動かしたりしています。

先日、4歳児クラスが運動会練習の合間に紙風船をポンポンと飛ばして遊んでいました。手で打つ力加減によって、紙風船は潰れたり転がったりします。なかなか思うようにいかない、もっと上手に飛ばしたい、その気持ちが意欲に繋がり、汗だくになって遊ぶ姿が印象的でした。また、昔遊びの『はないちもんめ』は♪かってうれしいはないちもんめ まけてくやしいはないちもんめ♪とやりとりの後にじゃんけんで勝ったり負けたり繰り返しが楽しい遊びです。子どもたちの可愛らしい声に誘われて私も遊びに入れてもらい、子どもたちと手をつなぎ楽しい時間を過ごしました。とうとう最後の一回で負けた子が、悔しくて「もう、次なんてやりたくない」と涙を流し、担任に悔しさを訴える表情からはもう負けたくないと葛藤する気持ちが伝わってきました。友達との遊びの中で、悔しい気持ちを原動力にする子どもたちの心の成長を見守っていきたいと思います。

今月は、中町保育園最後の運動会が開催されます。当日はご家族の方々の前で、一人ひとりが力を発揮しようと奮起する姿を間近で見ただけだと思います。日頃、友達と楽しんで取り組んできた様子を思い浮かべながら、保護者の皆様と成長を感じ合える親子で楽しい運動会にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

行事予定

運動会（2・3・4・5歳児クラス）

※0・1歳児クラスは自由参加

芋掘り遠足（4・5歳児クラス）

※中央町保育園と同日

幼児お楽しみ会（3・4・5歳児クラス）

中旬 身体計測 避難訓練

統合に向けた予定

運動会ごっこ（3・4歳児クラス）

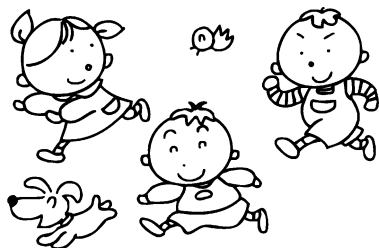
中央町保育園が遊びに来ます

中央町保育園へ遊びに行きます



避難訓練 ～もしもの時にできること～

9月1日「防災の日」に地震による緊急事態宣言が発令された想定で引き渡し訓練を行いました。子どもたちは動画を鑑賞し保育士の話を聞いて、避難する時に『お・か・し・も』の大切な合言葉を知ることができました。災害時には電気や水が使えなくなることもあるので、園で準備している防災グッズや備蓄品の一部を紹介しました。非常食のアルファ化米は、調理前の乾燥しているものと水を加えて混ぜたものの二つを用意して子どもたちに見せると「これがご飯になるのかな」と興味を持ってのぞき込んでいます。また、水や缶詰なども「おうちにもあるよ」と身近なものとして捉えている様子でした。もし、自然の災害が起きた時「こうしたらいいね」「こういう物が必要なんだよね」と考える機会になりました。



よいしょ、よいしょ、その先へ

もも組（0歳児）

歩行が始まり、“またぐ”“よじ登る”など足腰がよく動くようになってきました。また、歌に合わせて保育士を真似て、一緒に体を動かすことも楽しんでいます。ふれあい遊びの歌の中でも『あまだれポットン』がお気に入りです。はじめは保育士が踊る様子を見ていましたが、今では振りを覚え手を叩き、くるりと一回りしています。「ズンチャ、ズンチャ」と保育士が口ずさむと、パッと笑顔になり、両腕を重ねてポーズをとってリズムに合わせ、立ったりしゃがんだりしています。歌が終わると“じょうず”“面白い”“やったー”というかのように得意気な笑顔で拍手をしています。そして、すぐに“もう1回”と人差し指を出してリクエストが来ます。このふれあい遊びは1、2歳の友達にも広がり交流のきっかけになっています。

動いて遊ぶ楽しさが季節と共に広がるように戸外活動を思い切り楽しんでいきます。



たんぽぽ組（1歳児）

圧縮袋にたくさんの風船を敷き詰めた風船マットを用意しました。初めにそっと触れてみると風船のふわふわとした感触に目を丸くして驚いていましたが、保育士が「気持ちいいね」と寝転ぶと、同じように登って寝転び始め、全身で感触を楽しんでいます。また、風船マットを叩くと音が鳴ることに気付き「だっだー」と声をあげて何度も叩いています。そして、リズム遊びで楽しんでいる“うさぎ”や“うま”の歌を歌うとそれに合わせて体を上下に揺らして弾ませたり、手と足でしっかりとバランスをとりながら好きな方向にハイハイで進んだりしています。保育士と一緒に、繰り返し遊ぶ中でだんだんと体の動きも大きくなってきました。

これからも子どもたちの“たのしそう”“やってみたい”という気持ちを大切にしながら、様々な体の部位を動かす遊びを一緒に楽しんでいきたいと思います。



ちゅうりっぷぐみ（2歳児）

おやつ時間に“鶏肉の照り焼きごはん”が出てきました。ある子が、味の染みたごはんを美味しそうに食べていたのですが、よく見ると茶碗の端のほうに鶏肉が集められています。保育士が「お肉を食べるとね、力がついて筋肉ムキムキになるんだよ」と伝えると、別の子が「じゃあ、私食べてみる」と口に含みました。腕を触ってみて「わあ、ムキムキになってるよ」と伝えると嬉しそうに笑っています。「ぼくも」「わたしも」と“筋肉ムキムキ”を目指してどんどん食べ始め、この日はいつもよりもたくさんパワーをつけた子どもたちでした。

食後、保育士とお相撲ごっこが始まりました。「はっけよい、のこった」の合図で力いっぱい押し合い、大人も子どもも真剣です。保育士をマットの外まで押し切ると「やった、かったよ」と大喜びで友達に声をかけています。「ねえ、もしかしてお肉を食べたからじゃないかな」と保育士が言うとハッとした表情で「そうかも」と嬉しそうです。強くなったかもしれないという気持ちが自信となったのか、足を踏ん張る力が強くなったり、体を前傾にしながら力いっぱい押したりと、パワーみなぎるお相撲大会になりました。子どもたちがお肉を食べるとお相撲さんみたいに強くなれると思うイメージを引き出し、力いっぱい遊ぶ楽しさを味わう経験を大切にしていきたいと思います。

